

《平成 28 年度 留学生和紙ちぎり絵体験教室を実施しました》

(1)日 時：平成 28 年 8 月 26 日(金)

13：30～17：30

(2)会 場：東京国際交流館(東京都江東区)

(3)参加費用：参加料金は、本協会にて負担しました。

(4)参加人数：21 名

※中国：14 名、インドネシア：2 名、台湾：2 名、韓国：1 名、スペイン：1 名、
ロシア：1 名

(5)実施状況：

今回の和紙ちぎり絵体験は公益財団法人日本和紙ちぎり絵協会の協力のもと開催されました。当日は、井上理事長からの挨拶の後、文化庁の近藤都代子主任文化財調査官より、2014 年にユネスコ無形文化遺産に登録された「和紙：日本の手漉和紙技術」についての講演が行われました。

講演では、登録された三大和紙(石州半紙、本美濃紙、細川紙)のほか、和紙は現在国内約 50 か所で作られており、その地域の自然・文化的環境等を背景に、用途に応じた多様な和紙がある事などを学びました。

講演後、日本和紙ちぎり絵協会から派遣された 5 名の講師の指導のもと、「柿」を題材にしたちぎり絵を制作しました。留学生にとって和紙を「ちぎる」事は初めての作業で、思い通りの型にちぎる事が出来ず苦労している様子でしたが、1 時間程度で全員がちぎり絵を完成させることが出来ました。

ちぎり絵制作後の懇親会では、留学生による作品発表と講評が行われ、「ちぎり絵は、細かい作業が大変だったが貴重な体験をすることが出来た」等の感想が寄せられました。その後は、和菓子を囲んでの歓談となり、留学生、講師、本協会役職員と和やかな交流が行われました。

